

本市の人口動態について

亀山市

政策部 政策推進課

目次

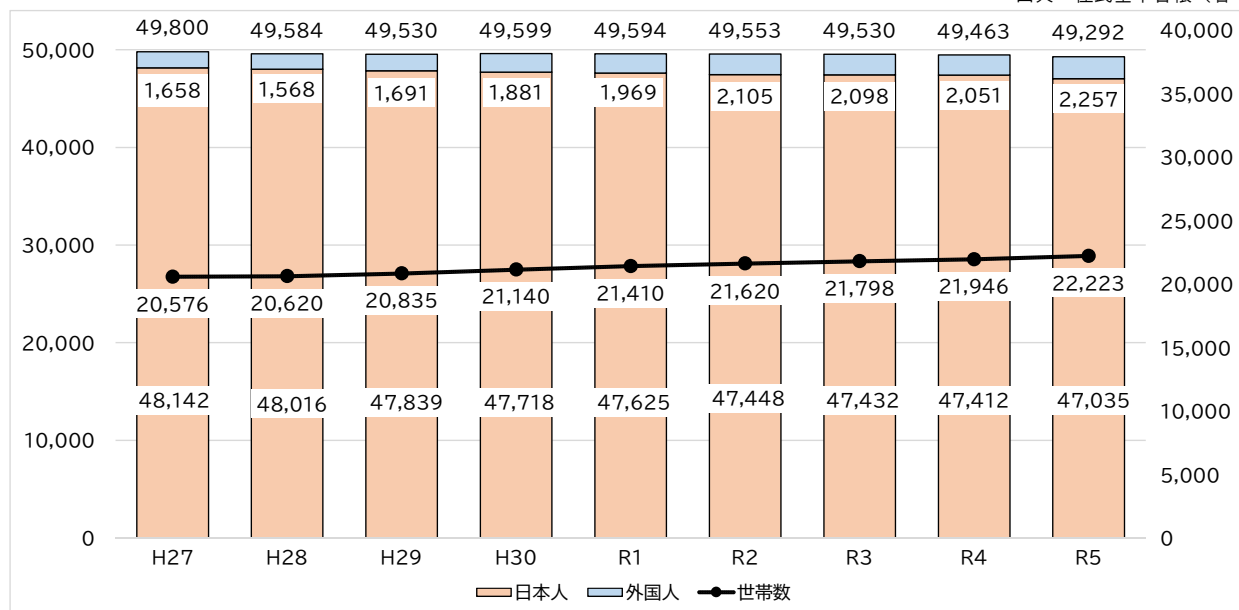
人口推移	1
人口推移（増減）	1
人口（年齢別）	2
人口比率	2
自然増減数	3
自然増減数（日本人）	3
自然増減数（外国人）	4
社会増減数	4
社会増減数（日本人）	5
社会増減数（外国人）	5
合計特殊出生率	6
未婚率	6
国・県との比較	7
地区別人口の推移	8
地区別人口比率	8
地区別人口マップ	9
小学校区別人口の推移	10
小学校区別人口比率	10
小学校区別人口マップ	11
主要な転入元（日本人）	12
主要な転入元（外国人）	12
主要な転出先（日本人）	13
主要な転出先（外国人）	13
着工住宅数（総計）と転入数	14
着工住宅数（総計）	14
着工住宅数（新設）	15
着工住宅数（増改築）	15
年齢階級別の人口移動の推移（総数）	16
年齢階級別の人口移動の推移（日本人）	17
年齢階級別の人口移動の推移（外国人）	18
人口ピラミッドの推移	19

人口推移等基礎データ

■人口推移

	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
総人口	50,211	50,001	49,661	49,914	49,800	49,584	49,530	49,599	49,594	49,553	49,530	49,463	49,292
日本人	47,752	47,963	48,120	48,257	48,142	48,016	47,839	47,718	47,625	47,448	47,432	47,412	47,035
外国人	2,459	2,038	1,541	1,657	1,658	1,568	1,691	1,881	1,969	2,105	2,098	2,051	2,257
世帯数	20,168	20,294	20,021	20,400	20,576	20,620	20,835	21,140	21,410	21,620	21,798	21,946	22,223

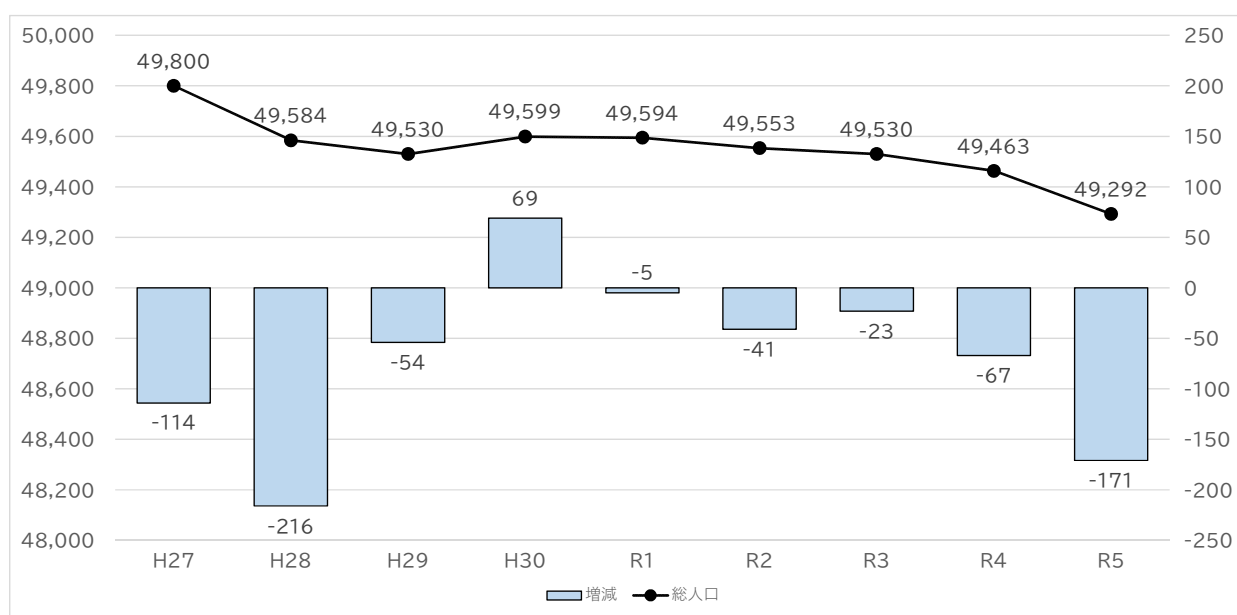
出典：住民基本台帳（各年4月1日）



■人口推移（増減）

	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
総人口	50,211	50,001	49,661	49,914	49,800	49,584	49,530	49,599	49,594	49,553	49,530	49,463	49,292
増減		-210	-340	253	-114	-216	-54	69	-5	-41	-23	-67	-171

出典：住民基本台帳（各年4月1日）

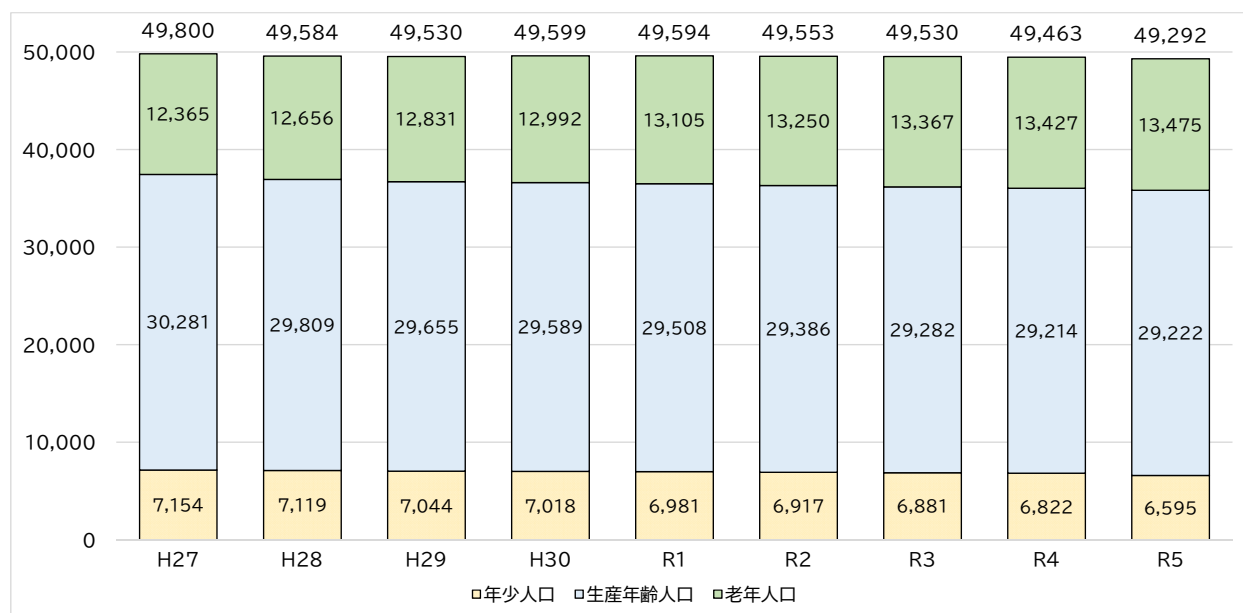


本市の総人口は、平成28年以降概ね横ばいで推移していますが、令和元年以降は減少が続いており、近年は減少幅の拡大傾向がみられます。一方、世帯数は増加傾向にあり、人口減少と併せて平均世帯人員が減少していることが分かります。外国人人口は、増減がある中で、令和元年度以降概ね2,000人程度で推移しています。

■人口（年齢別）

	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
総人口	50,211	50,001	49,661	49,914	49,800	49,584	49,530	49,599	49,594	49,553	49,530	49,463	49,292
年少人口	7,025	7,038	7,106	7,136	7,154	7,119	7,044	7,018	6,981	6,917	6,881	6,822	6,595
生産年齢人口	32,193	31,814	30,953	30,720	30,281	29,809	29,655	29,589	29,508	29,386	29,282	29,214	29,222
老年人口	10,993	11,149	11,602	12,058	12,365	12,656	12,831	12,992	13,105	13,250	13,367	13,427	13,475

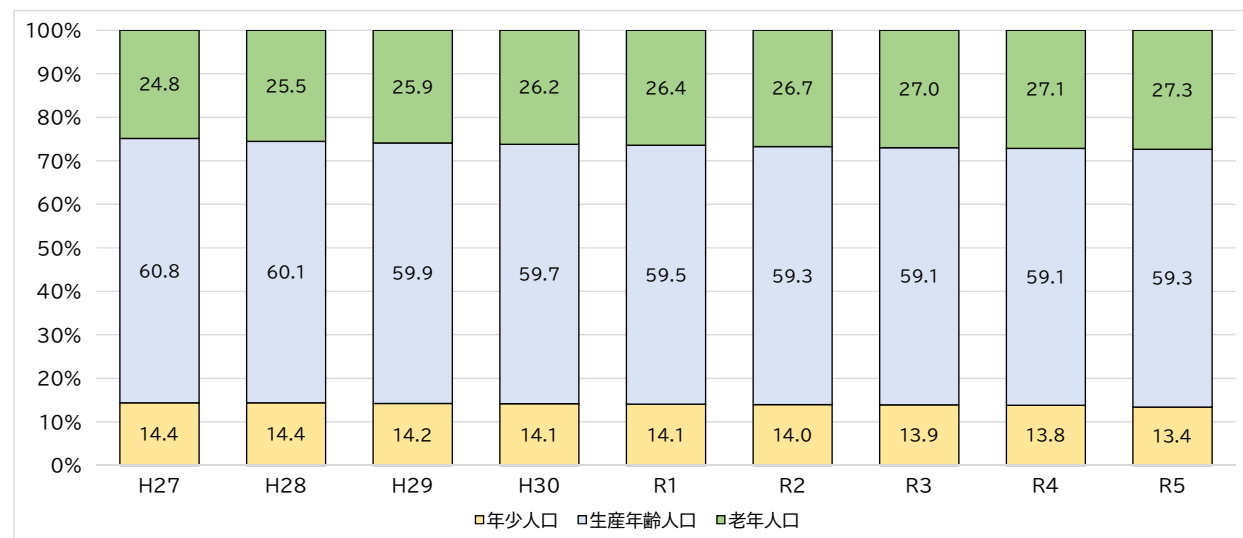
出典：住民基本台帳（各年4月1日）



■人口比率

	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
年少人口	14.0	14.1	14.3	14.3	14.4	14.4	14.2	14.1	14.1	14.0	13.9	13.8	13.4
生産年齢人口	64.1	63.6	62.3	61.5	60.8	60.1	59.9	59.7	59.5	59.3	59.1	59.1	59.3
老年人口	21.9	22.3	23.4	24.2	24.8	25.5	25.9	26.2	26.4	26.7	27.0	27.1	27.3

出典：住民基本台帳（各年4月1日）

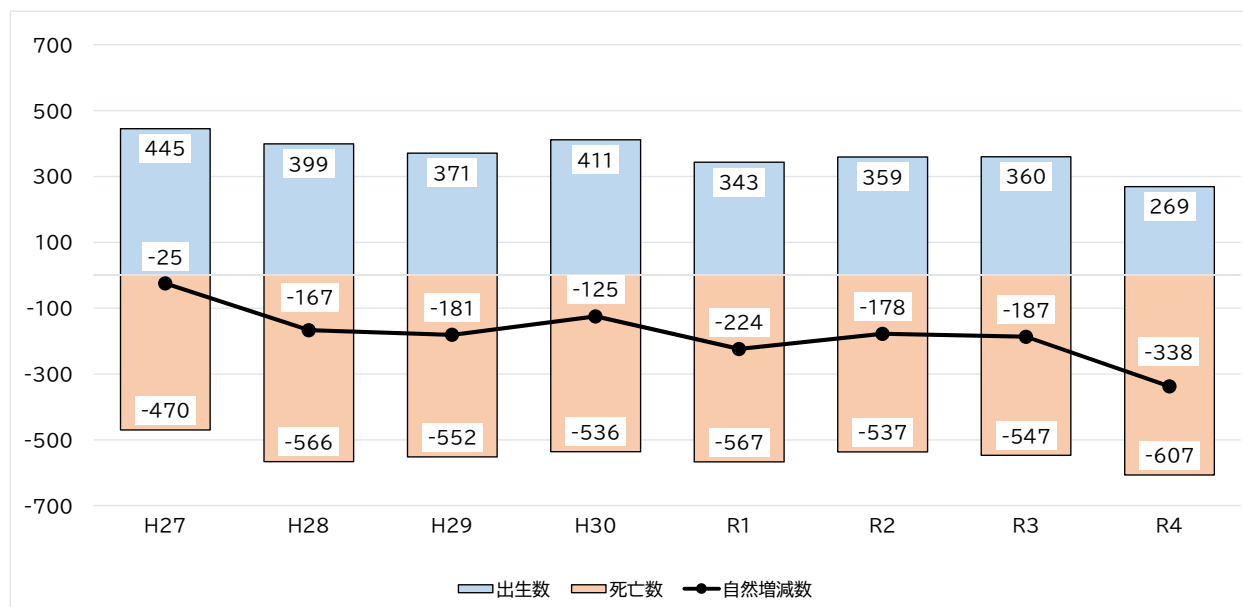


本市の人口構成は、老年人口比率が増加し、年少人口比率が減少傾向にある中で、生産年齢人口比率は、令和2年度以降ほぼ横ばいで推移しています。

■自然増減数

	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
出生数	437	449	470	464	445	399	371	411	343	359	360	269
死亡数	-507	-493	-482	-513	-470	-566	-552	-536	-567	-537	-547	-607
自然増減数	-70	-44	-12	-49	-25	-167	-181	-125	-224	-178	-187	-338

出典：住民基本台帳（各年度）

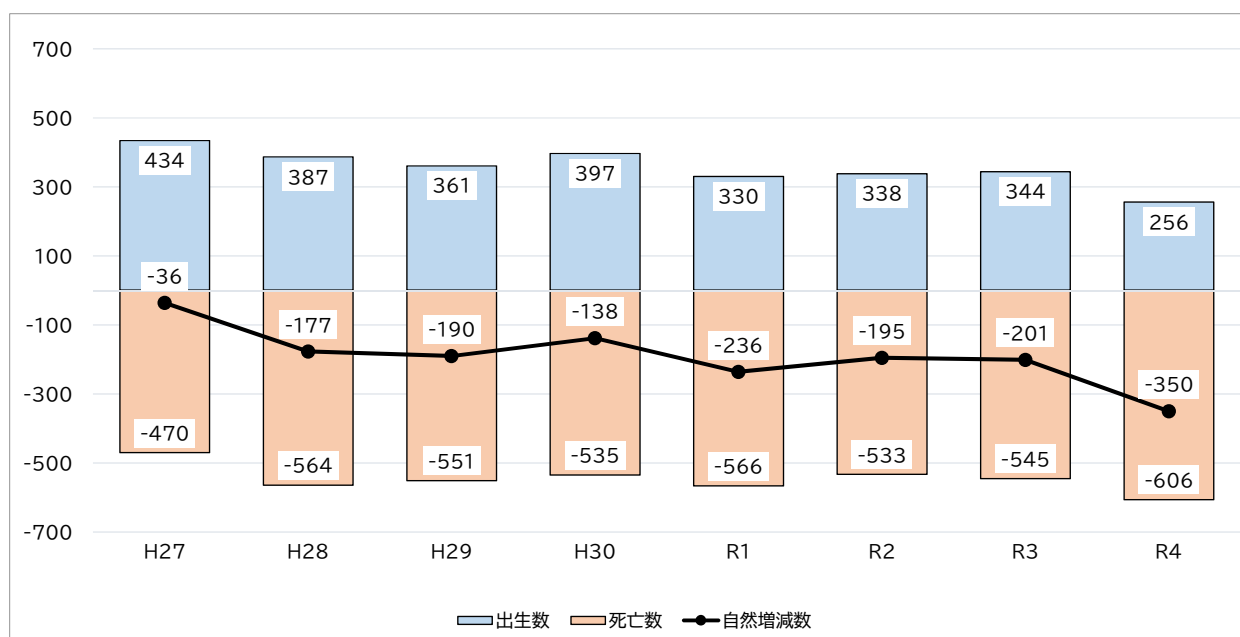


本市の人口の自然増減は、出生数が死亡数を下回るマイナスで推移しており、令和4年度には、マイナス傾向の拡大がみられます。

■自然増減数（日本人）

	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
出生数	424	442	453	449	434	387	361	397	330	338	344	256
死亡数	-505	-492	-481	-510	-470	-564	-551	-535	-566	-533	-545	-606
自然増減数	-81	-50	-28	-61	-36	-177	-190	-138	-236	-195	-201	-350

出典：住民基本台帳（各年度）

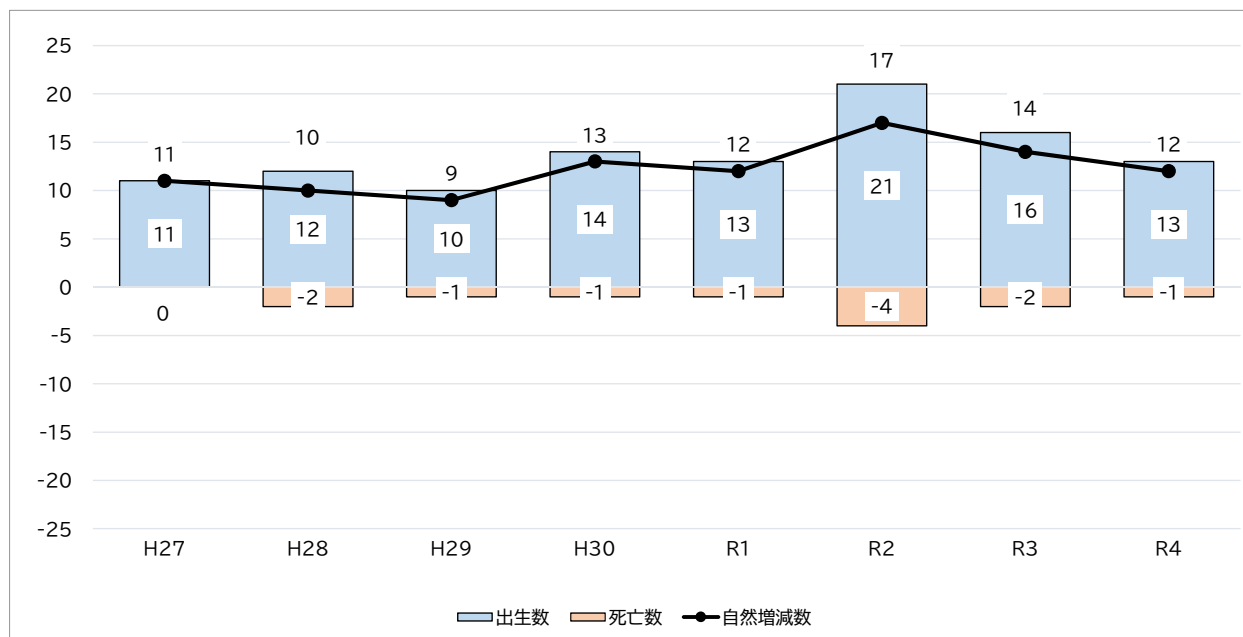


本市の自然増減のうち、日本人については、マイナスで推移しており、令和4年度には、マイナス傾向の拡大がみられます。

■自然増減数（外国人）

	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
出生数	13	7	17	15	11	12	10	14	13	21	16	13
死亡数	-2	-1	-1	-3	0	-2	-1	-1	-1	-4	-2	-1
自然増減数	11	6	16	12	11	10	9	13	12	17	14	12

出典：住民基本台帳（各年度）

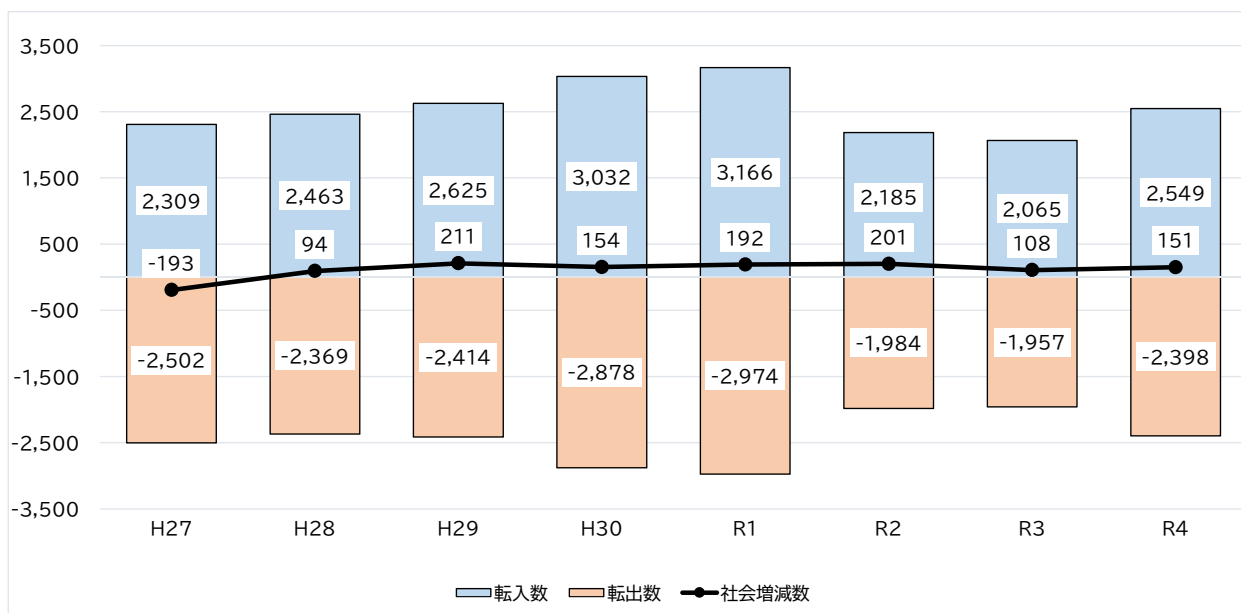


本市の自然増減のうち、外国人については、全体に占める割合は低いものの、プラスで推移しています。

■社会増減数

	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
転入数	2,767	2,532	2,566	2,445	2,309	2,463	2,625	3,032	3,166	2,185	2,065	2,549
転出数	-2,907	-2,823	-2,289	-2,474	-2,502	-2,369	-2,414	-2,878	-2,974	-1,984	-1,957	-2,398
社会増減数	-140	-291	277	-29	-193	94	211	154	192	201	108	151

出典：住民基本台帳（各年度）

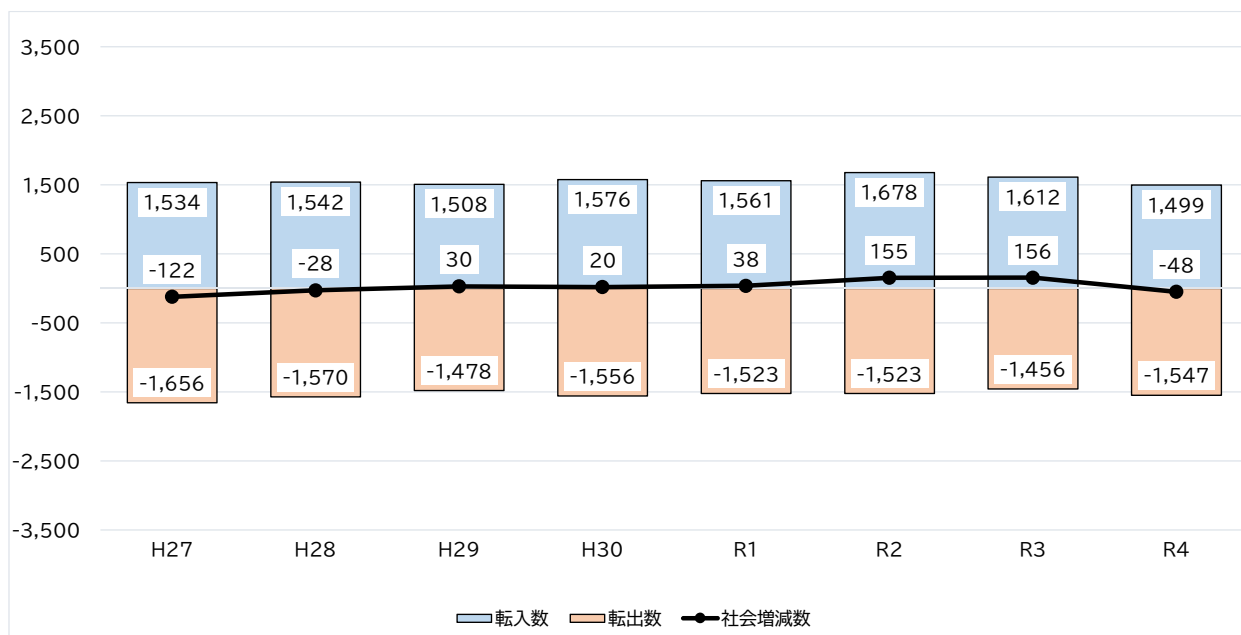


本市の社会増減は、平成28年度以降、年度平均150人程度の転入超過が続いています。

■社会増減数（日本人）

	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
転入数	1,968	2,211	1,802	1,576	1,534	1,542	1,508	1,576	1,561	1,678	1,612	1,499
転出数	-1,676	-2,286	-1,661	-1,648	-1,656	-1,570	-1,478	-1,556	-1,523	-1,523	-1,456	-1,547
社会増減数	292	-75	141	-72	-122	-28	30	20	38	155	156	-48

出典：住民基本台帳（各年度）

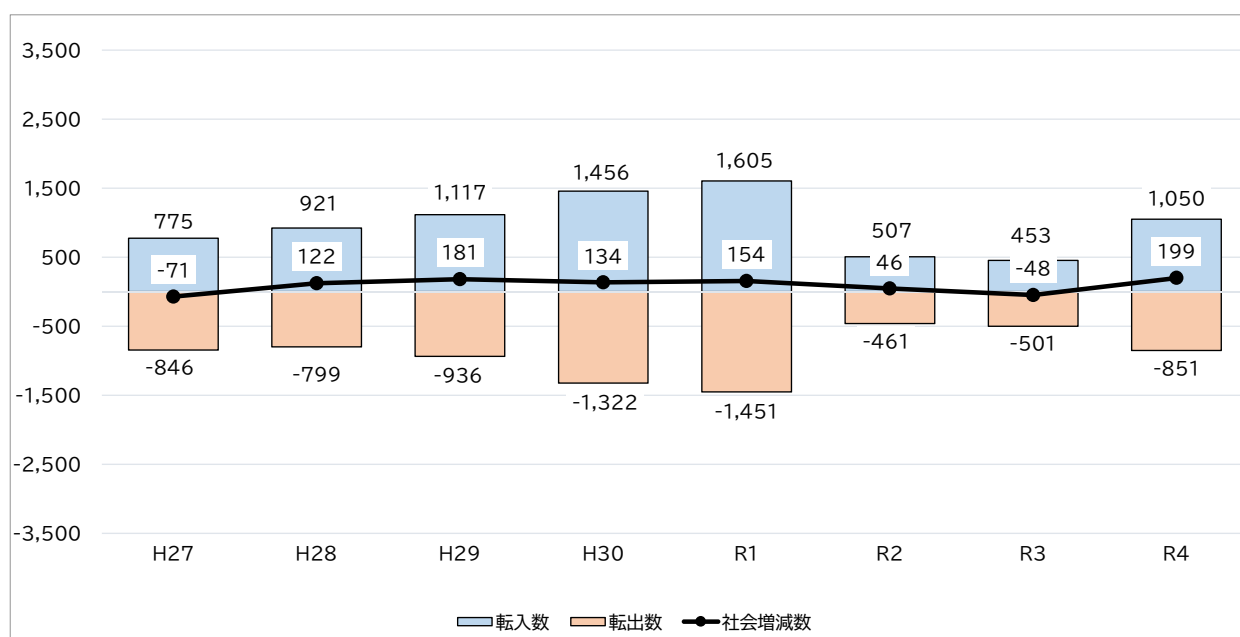


本市の社会増減のうち、日本人については、平成29年度以降転入超過が続いていましたが、令和4年度については、転出超過に転じています。

■社会増減数（外国人）

	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
転入数	799	321	764	869	775	921	1,117	1,456	1,605	507	453	1,050
転出数	-1,231	-537	-628	-826	-846	-799	-936	-1,322	-1,451	-461	-501	-851
社会増減数	-432	-216	136	43	-71	122	181	134	154	46	-48	199

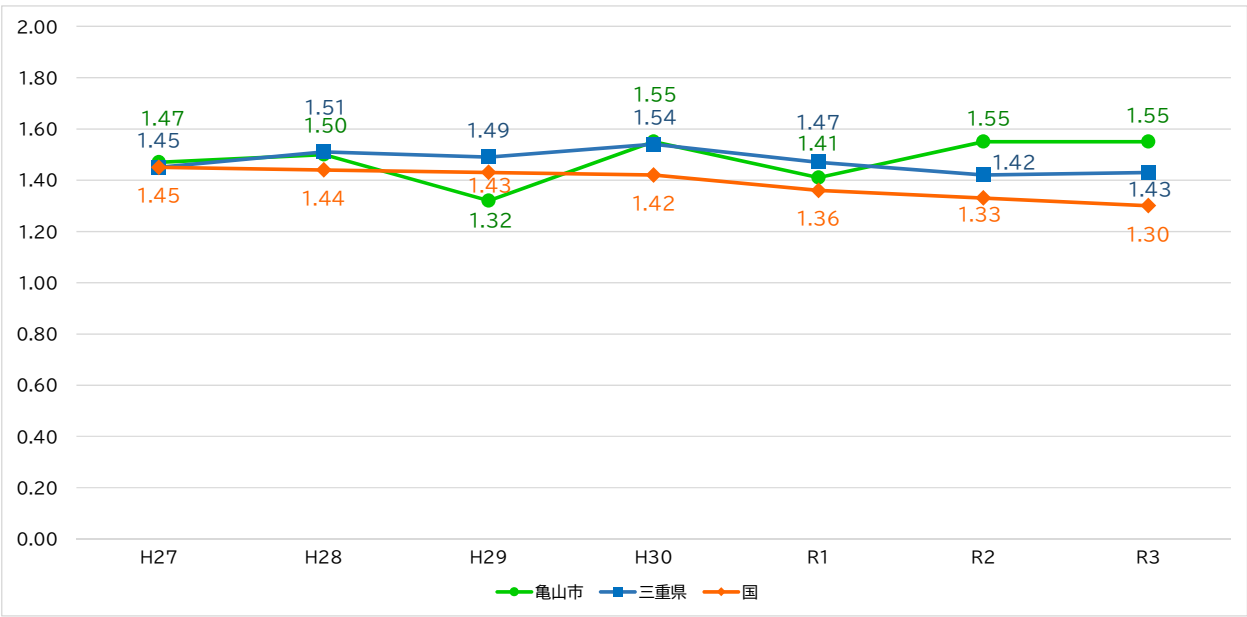
出典：住民基本台帳（各年度）



本市の社会増減のうち、外国人については、平成28年度以降、令和3年度を除いて転入超過が続いています。

■合計特殊出生率

	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	H27以降平均
亀山市	1.39	1.56	1.58	1.63	1.47	1.50	1.32	1.55	1.41	1.55	1.55	1.48
三重県	1.47	1.47	1.49	1.56	1.45	1.51	1.49	1.54	1.47	1.42	1.43	1.47
国	1.39	1.41	1.43	1.42	1.45	1.44	1.43	1.42	1.36	1.33	1.30	1.39

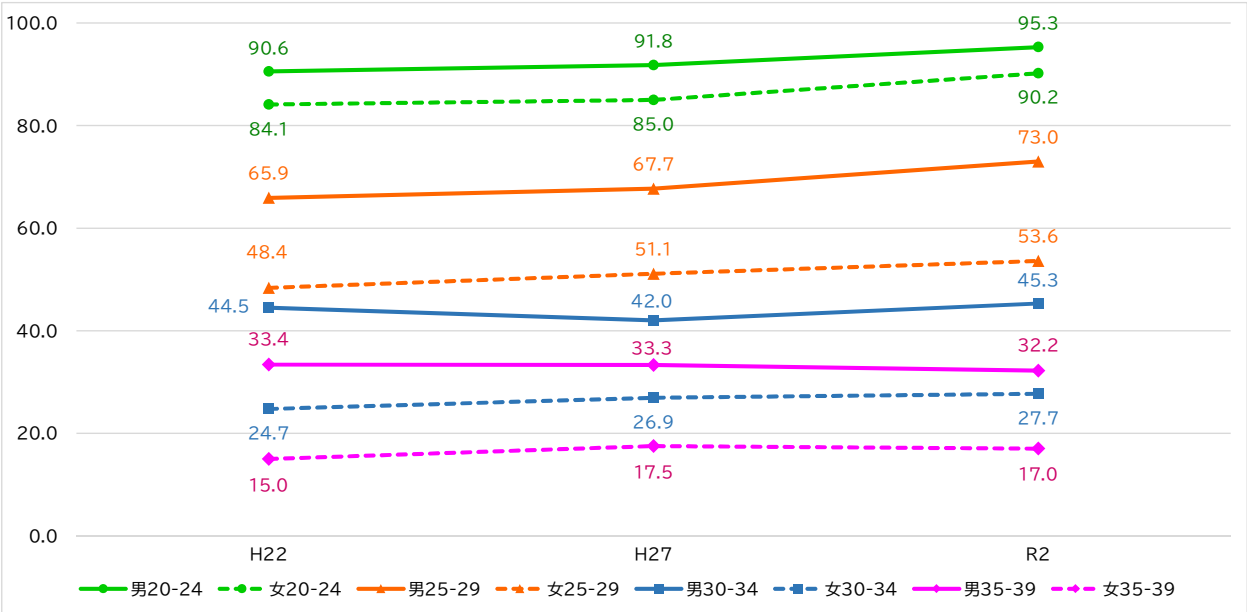


合計特殊出生率は、平成27年度以降の平均が1.48となっており、三重県平均とほぼ同じ水準ですが、国の1.39を上回っています。なお、本市及び三重県の合計特殊出生率は横ばい傾向で推移していますが、国については低下傾向となっています。

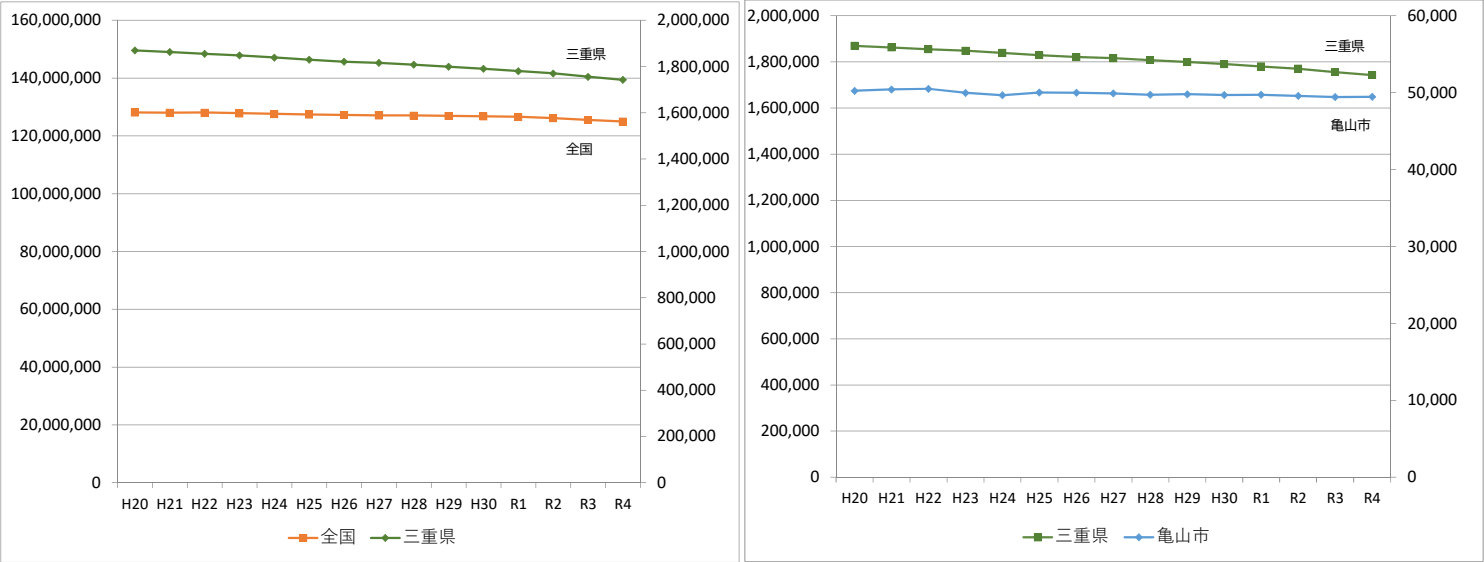
■未婚率

	H2	H7	H12	H17	H22	H27	R2	H22との差
男20-24	91.7	90.4	89.2	89.1	90.6	91.8	95.3	4.74
女20-24	82.2	83.0	82.9	82.4	84.1	85.0	90.2	6.08
男25-29	57.9	64.1	64.6	67.3	65.9	67.7	73.0	7.09
女25-29	25.7	35.2	46.6	50.3	48.4	51.1	53.6	5.25
男30-34	23.9	29.4	38.0	42.7	44.5	42.0	45.3	0.83
女30-34	4.6	9.2	14.2	23.3	24.7	26.9	27.7	2.97
男35-39	15.1	17.2	19.5	28.1	33.4	33.3	32.2	-1.18
女35-39	3.0	4.2	7.3	9.4	15.0	17.5	17.0	2.02

本市の未婚率は、平成22年度と比較すると、男35-39を除き上昇しています。特に、女20-24、男25-29、女25-29については、5ポイント以上上昇するとともに、男20-24についても、4.74ポイント上昇しており、晩婚化傾向がみとれます。



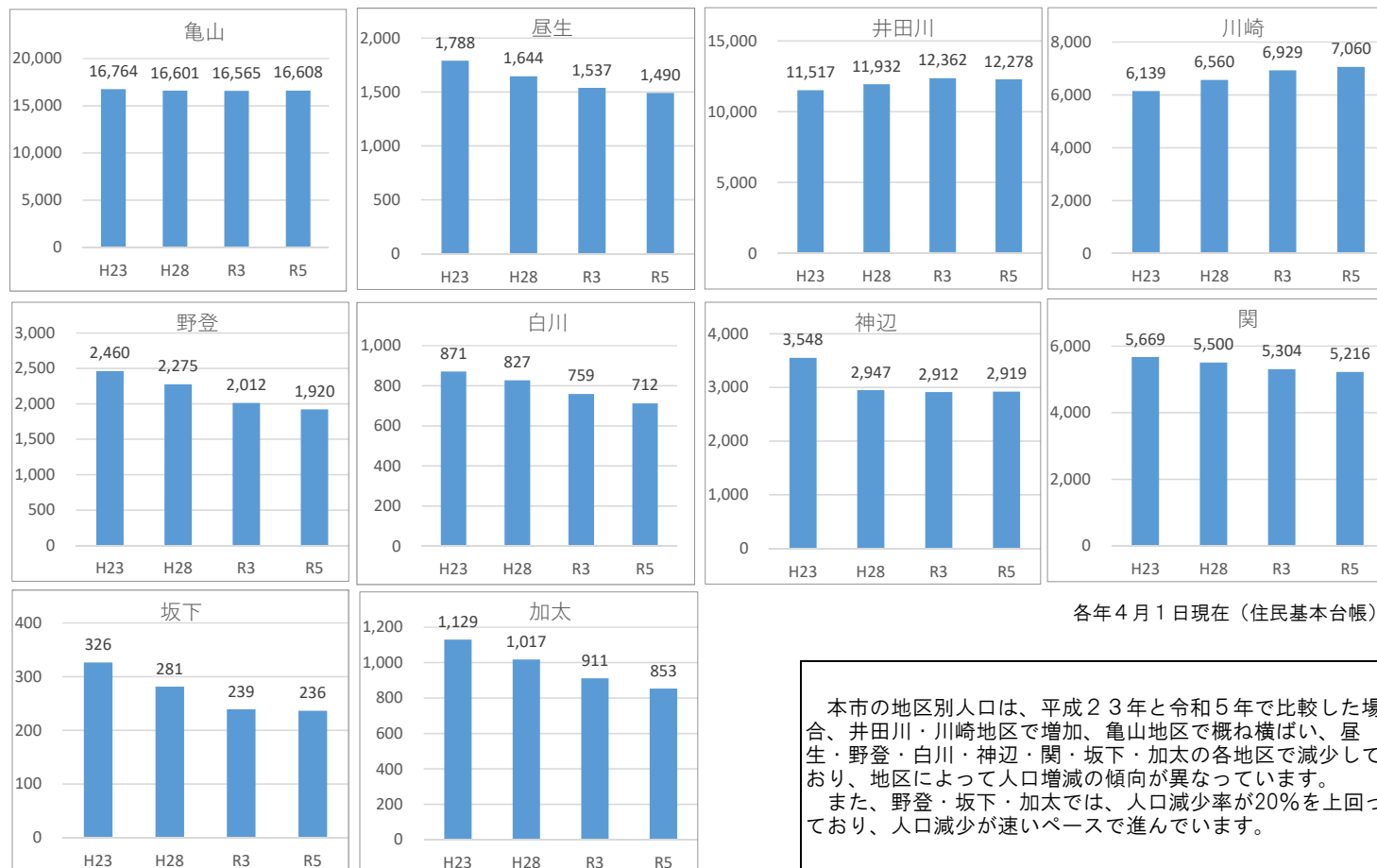
■国・県との比較



	ピーク人口	R4人口	増減	減少率
国	128,084,000	124,947,000	-3,137,000	-2.4%
県	1,869,669	1,742,703	-126,966	-6.8%
市	50,503	49,449	-1,054	-2.1%

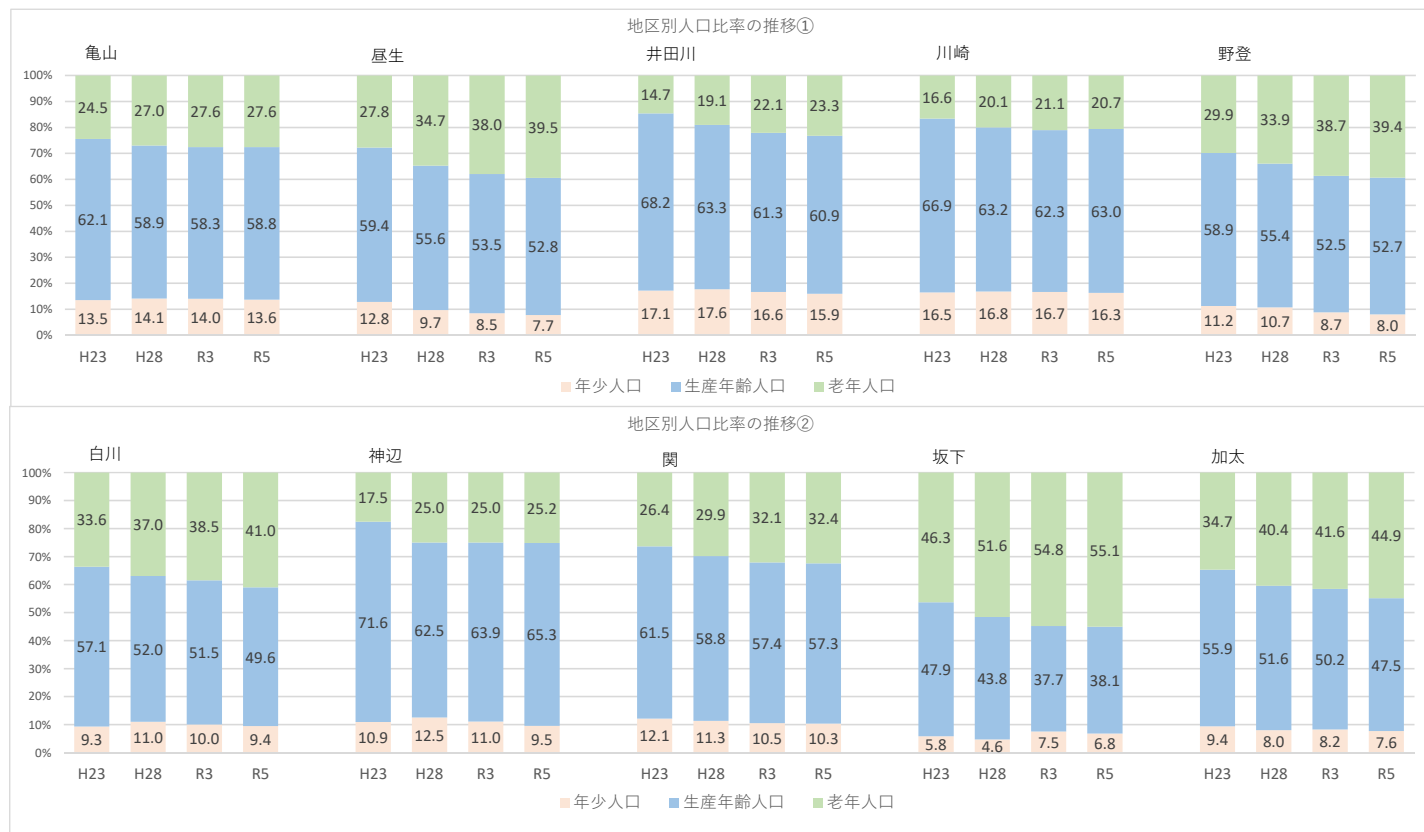
国・県・市のピーク人口（国・県H20 市H22）から令和4年にかけての人口増減率を比較すると、国-2.4%・県-6.8%・本市-2.1%となっており、国・県と比較すると、本市の人口減少は緩やかに進行していることが分かります。

■地区別人口の推移



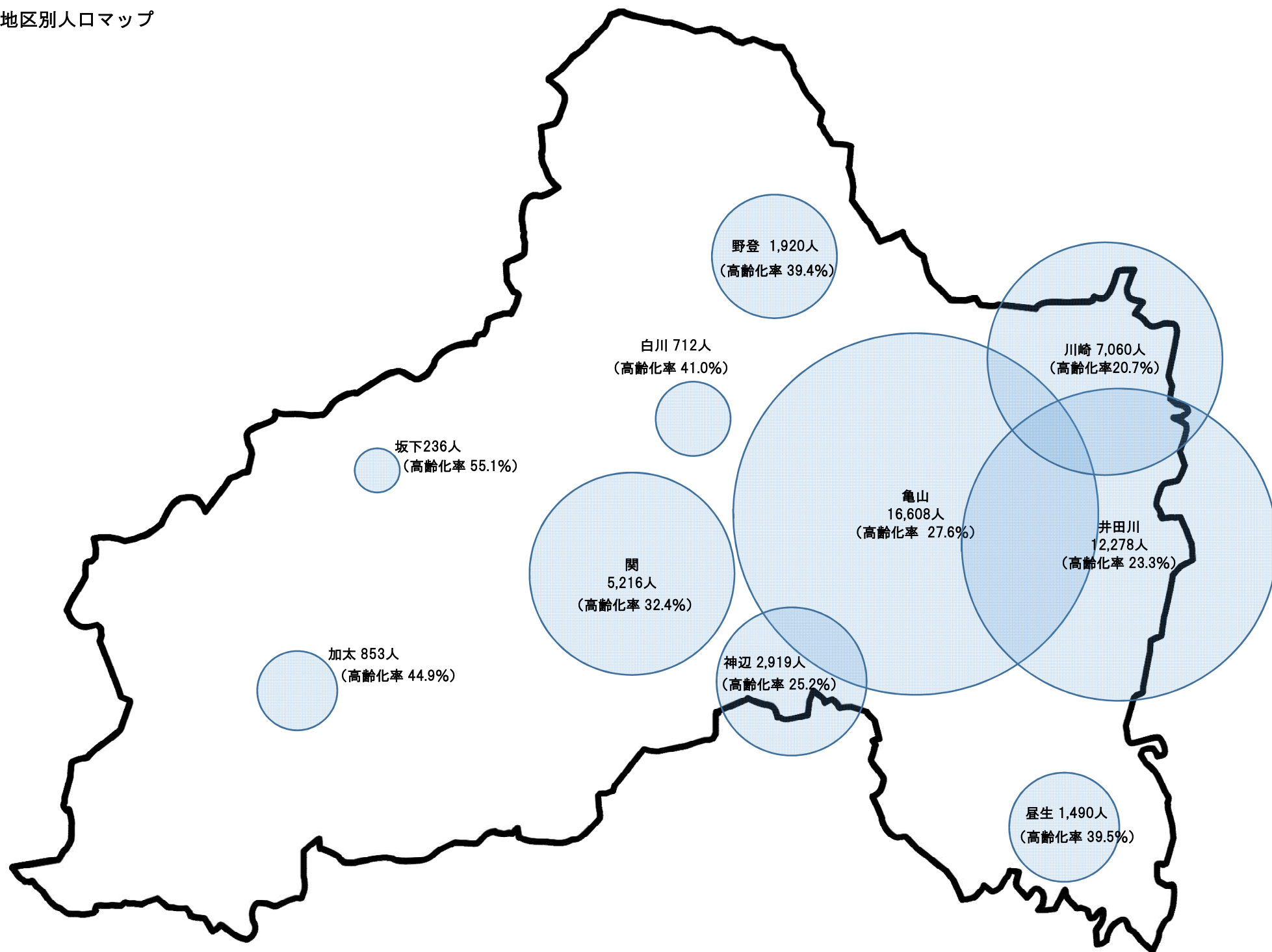
■地区別人口比率

（参考：R5 本市全体）年少人口 13.4% 生産年齢人口 59.3% 老年人口 27.3%

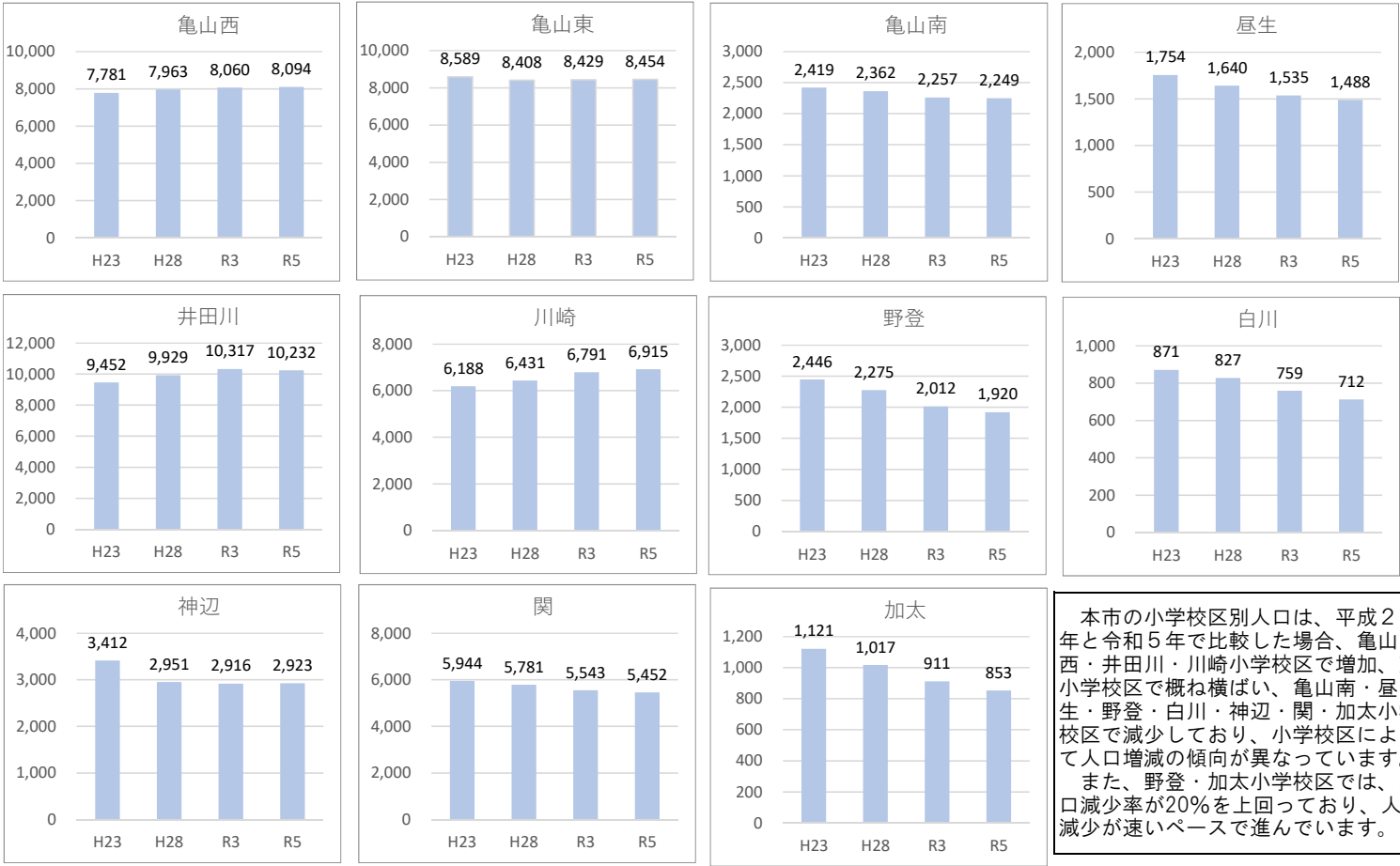


本市の地区別人口比率（令和5年）について、年少人口は、亀山・井田川・川崎の3地区、生産年齢人口は、井田川・川崎・神辺において本市全体の平均を上回っています。一方、老年人口は、亀山・昼生・野登・白川・関・坂下・加太で本市全体の平均を上回っており、地区によって人口比率が異なります。

■地区別人口マップ

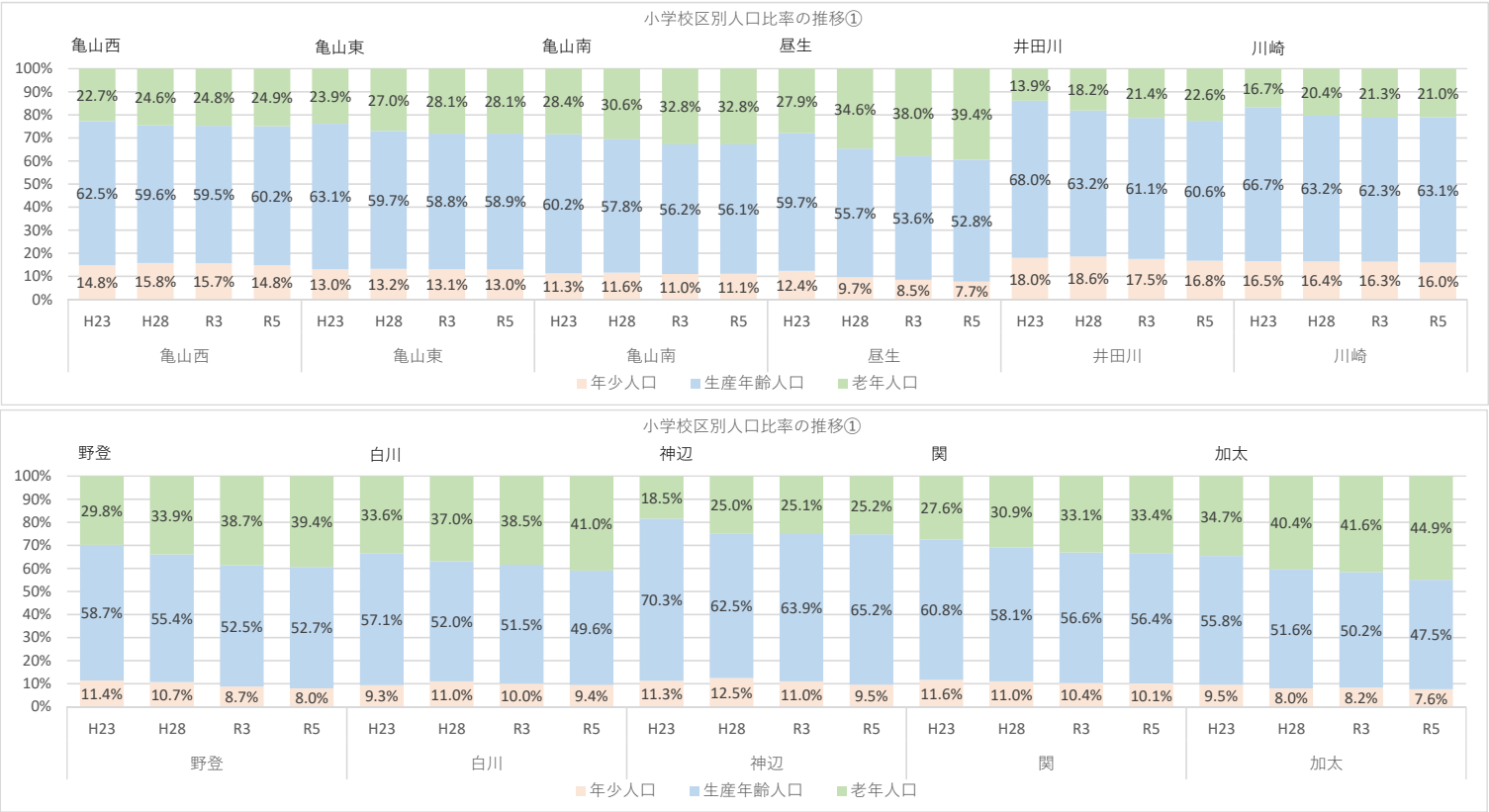


■小学校区別人口の推移



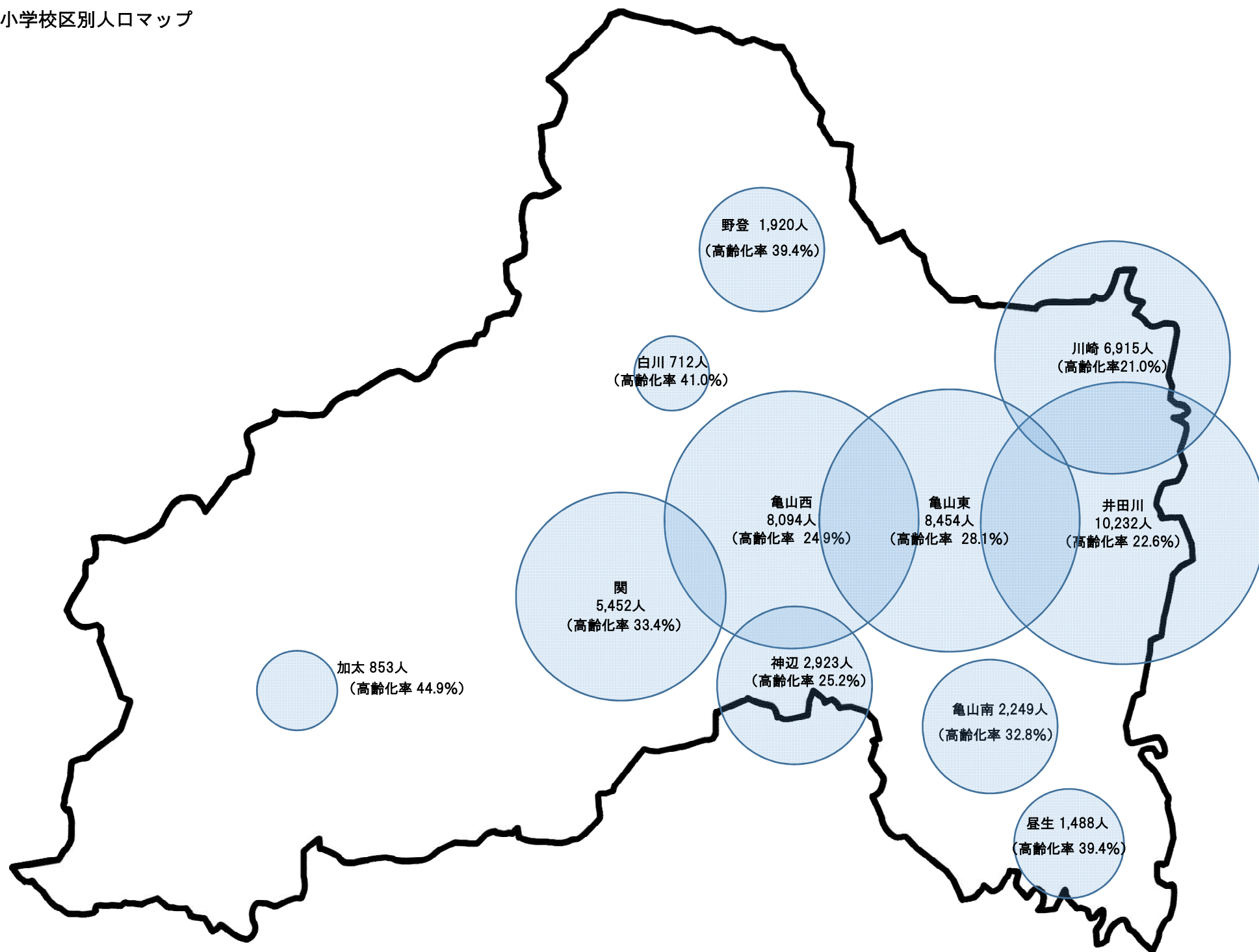
各年4月1日現在（住民基本台帳）※平成23年は10月1日（H23.9以前は集計方法が異なるため）※システム集計のため合計が総人口と一致しない場合があります。

■小学校区別人口比率（参考：R5 本市全体）年少人口 13.4% 生産年齢人口 59.3% 老年人口 27.3%



本市の小学校区別人口比率（令和5年）について、年少人口は、亀山西・井田川・川崎の3小学校区、生産年齢人口は、亀山西・井田川・川崎・神辺小学校区において本市全体の平均を上回っています。一方、老年人口は、亀山東・亀山南・昼生・野登・白川・関・加太で本市全体の平均を上回っており、小学校区によって人口比率が異なります。

■小学校区別人口マップ

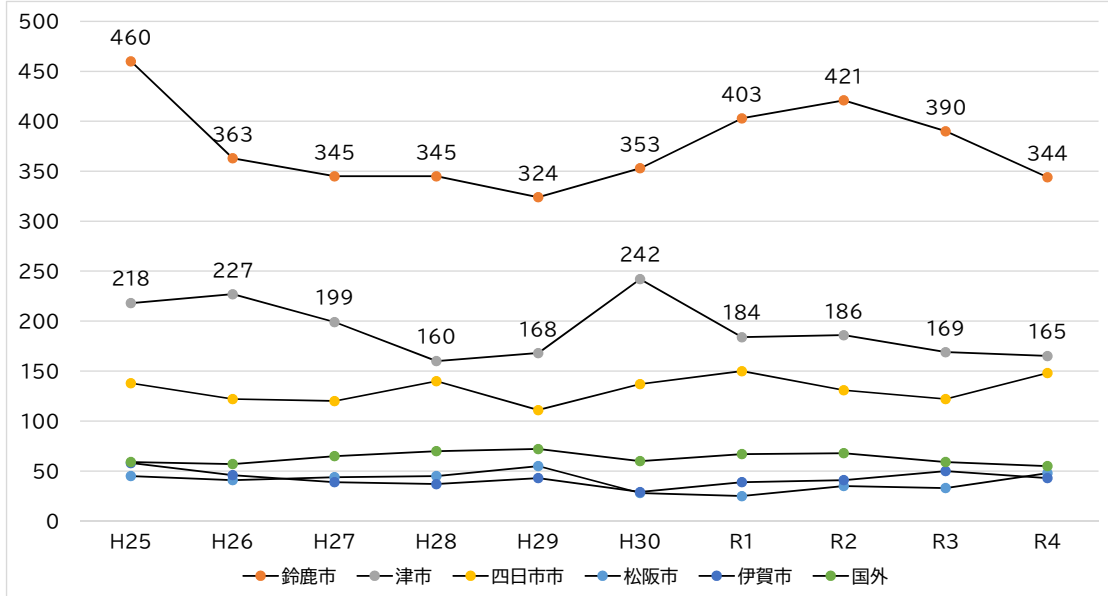


■主要な転入元（日本人）

（人）

	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
鈴鹿市	460	363	345	345	324	353	403	421	390	344
津市	218	227	199	160	168	242	184	186	169	165
四日市市	138	122	120	140	111	137	150	131	122	148
松阪市	45	41	44	45	55	28	25	35	33	48
伊賀市	58	46	39	37	43	29	39	41	50	43
桑名市	12	20	15	21	21	15	21	23	28	29
国外	59	57	65	70	72	60	67	68	59	55

出典：住民基本台帳（年度）



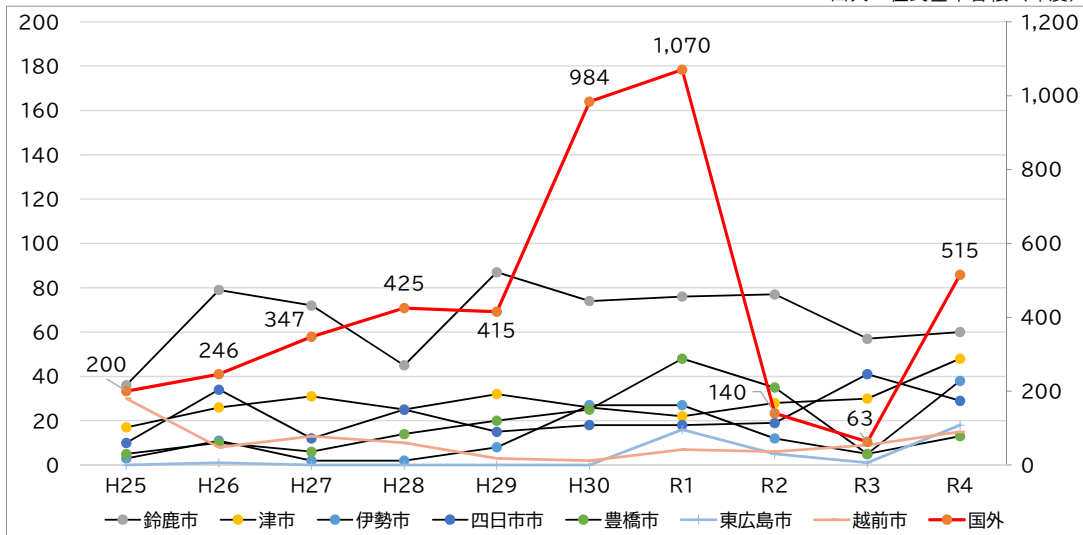
本市への主要な転入元（日本人）は、県内近隣市が多くを占めており、特に鈴鹿市・津市・四日市市からの転入が多い状態で推移しています。

■主要な転入元（外国人）

（人）

	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
国外	200	246	347	425	415	984	1,070	140	63	515
鈴鹿市	36	79	72	45	87	74	76	77	57	60
津市	17	26	31	25	32	26	22	28	30	48
伊勢市	3	11	2	2	8	27	27	12	5	38
四日市市	10	34	12	25	15	18	18	19	41	29
豊橋市	5	10	6	14	20	25	48	35	5	13
東広島市	0	1	0	0	0	0	16	5	1	18
越前市	30	8	13	10	3	2	7	6	9	15

出典：住民基本台帳（年度）



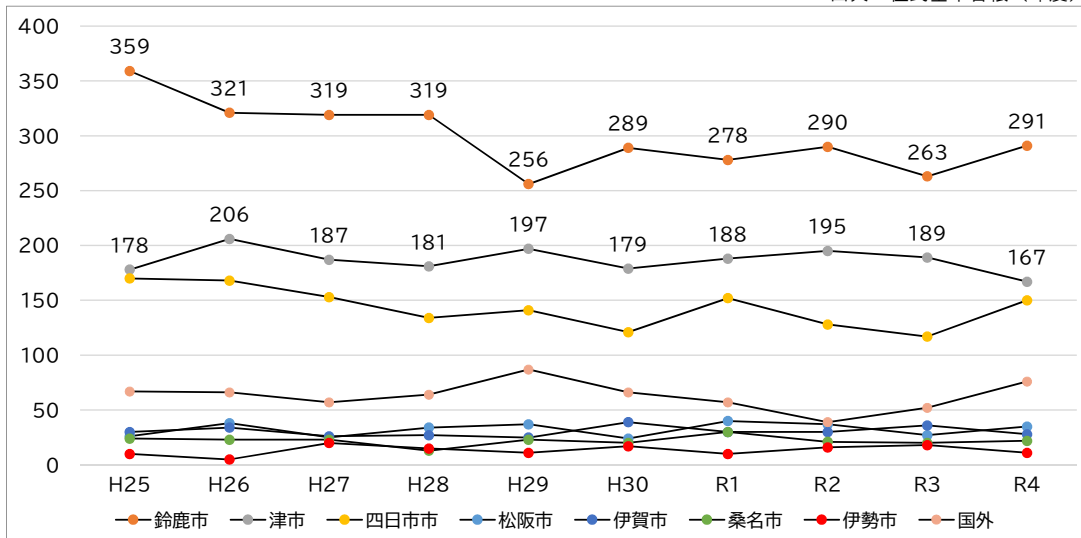
本市への主要な転入元（外国人）は、国外が多くを占めるほか、県内近隣市からの転入が一定程度を占める状態で推移しています。また、県外からの転入も、転入元には変動があるものの継続しています。

■主要な転出先（日本人）

(人)

	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
鈴鹿市	359	321	319	319	256	289	278	290	263	291
津市	178	206	187	181	197	179	188	195	189	167
四日市市	170	168	153	134	141	121	152	128	117	150
松阪市	26	38	25	34	37	24	40	37	27	35
伊賀市	30	34	26	27	25	39	30	30	36	28
桑名市	24	23	23	13	23	20	30	21	20	22
伊勢市	10	5	20	15	11	17	10	16	18	11
国外	67	66	57	64	87	66	57	39	52	76

出典：住民基本台帳（年度）



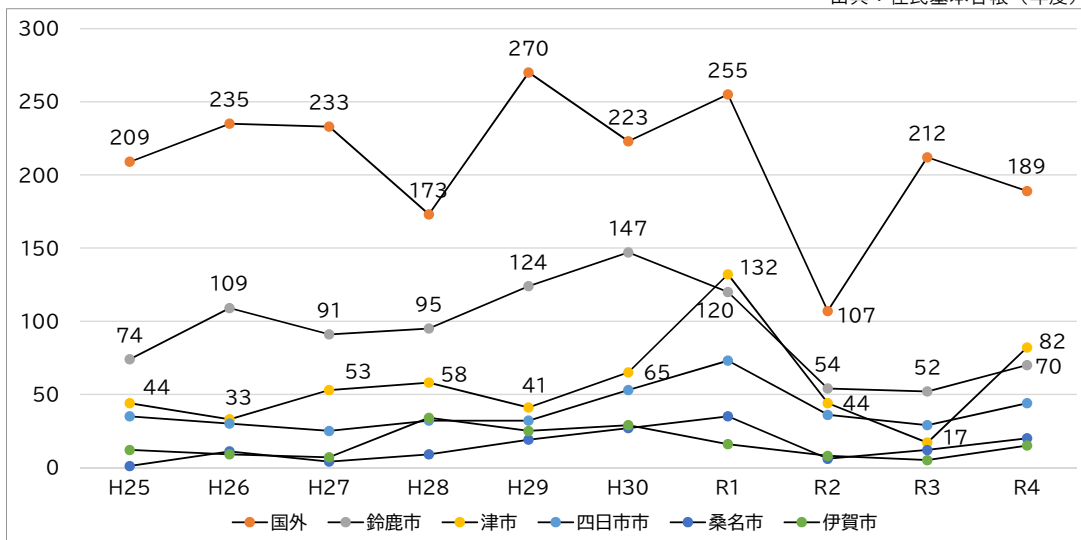
本市からの主要な転出先（日本人）は、県内近隣市が多くを占めており、特に鈴鹿市・津市・四日市市への転出が多い状態で推移しています。

■主要な転出先（外国人）

(人)

	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
国外	209	235	233	173	270	223	255	107	212	189
鈴鹿市	74	109	91	95	124	147	120	54	52	70
津市	44	33	53	58	41	65	132	44	17	82
四日市市	35	30	25	32	32	53	73	36	29	44
桑名市	1	11	4	9	19	27	35	6	12	20
伊賀市	12	9	7	34	25	29	16	8	5	15

出典：住民基本台帳（年度）

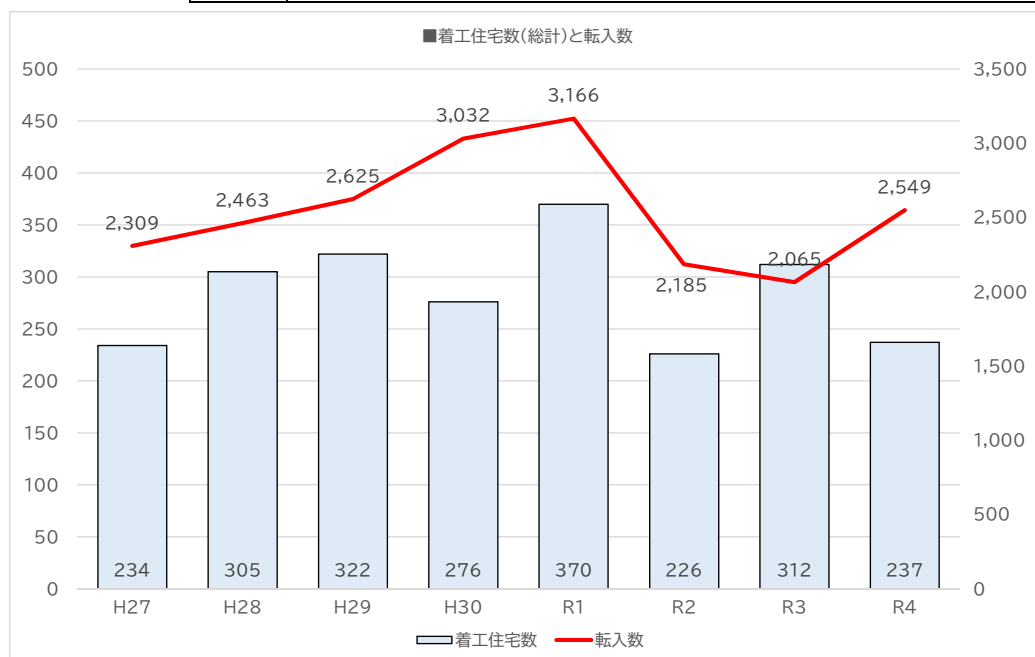


本市からの主要な転出先（外国人）は、国外が多くを占めるほか、県内近隣市への転入が一定程度を占める状態で推移しています。

■着工住宅数（総計）と転入数

(戸・件／人)

	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
転入数	2,566	2,445	2,309	2,463	2,625	3,032	3,166	2,185	2,065	2,549
着工住宅数	335	279	234	305	322	276	370	226	312	237
	平均		285							



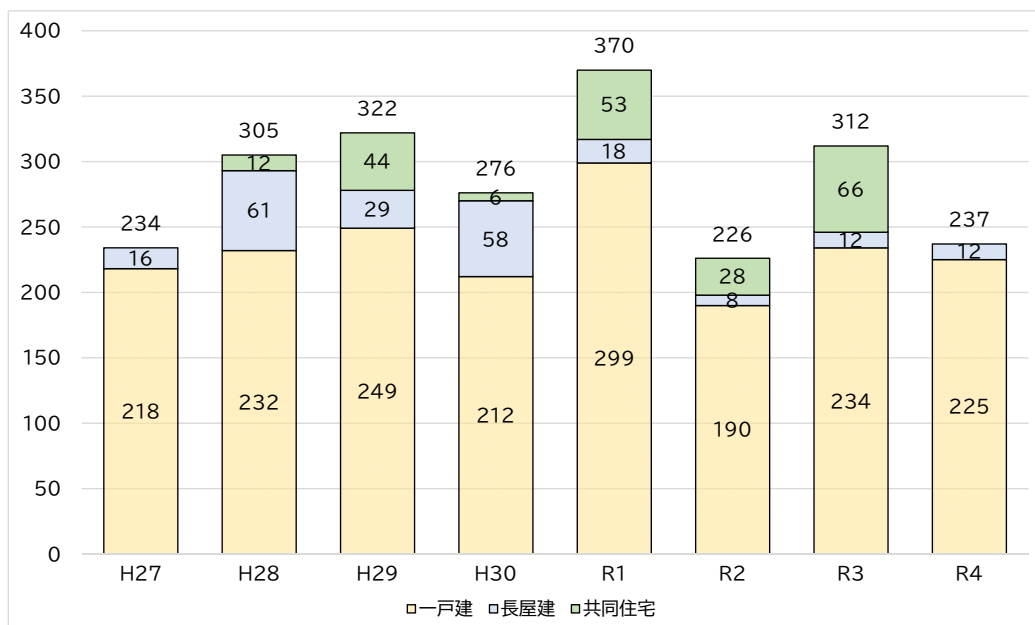
本市の住宅着工数は、増減しつつ推移しており、平成27年度以降でみると平均285戸／件となっています。

■着工住宅数（総計）

(戸・件)

	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
総計	335	279	234	305	322	276	370	226	312	237
前年度比	-	83%	84%	130%	106%	86%	134%	61%	138%	76%
一戸建	301	233	218	232	249	212	299	190	234	225
長屋建	34	26	16	61	29	58	18	8	12	12
共同住宅	0	20	0	12	44	6	53	28	66	0

出典：住宅着工統計（年度次）



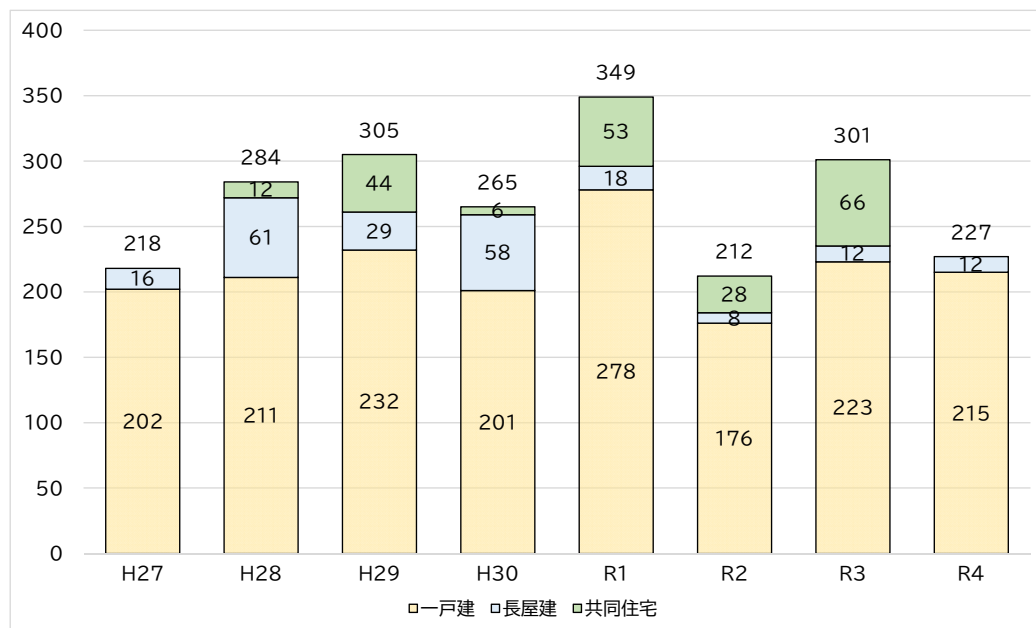
本市の住宅着工数は、一戸建てが多くの割合を占めています。長屋建・共同住宅については、年度による着工数にばらつきがみられます。

■着工住宅数（新設）

（戸・件）

	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
総計	296	260	218	284	305	265	349	212	301	227
一戸建	262	214	202	211	232	201	278	176	223	215
長屋建	34	26	16	61	29	58	18	8	12	12
共同住宅	0	20	0	12	44	6	53	28	66	0

出典：住宅着工統計（年度次）

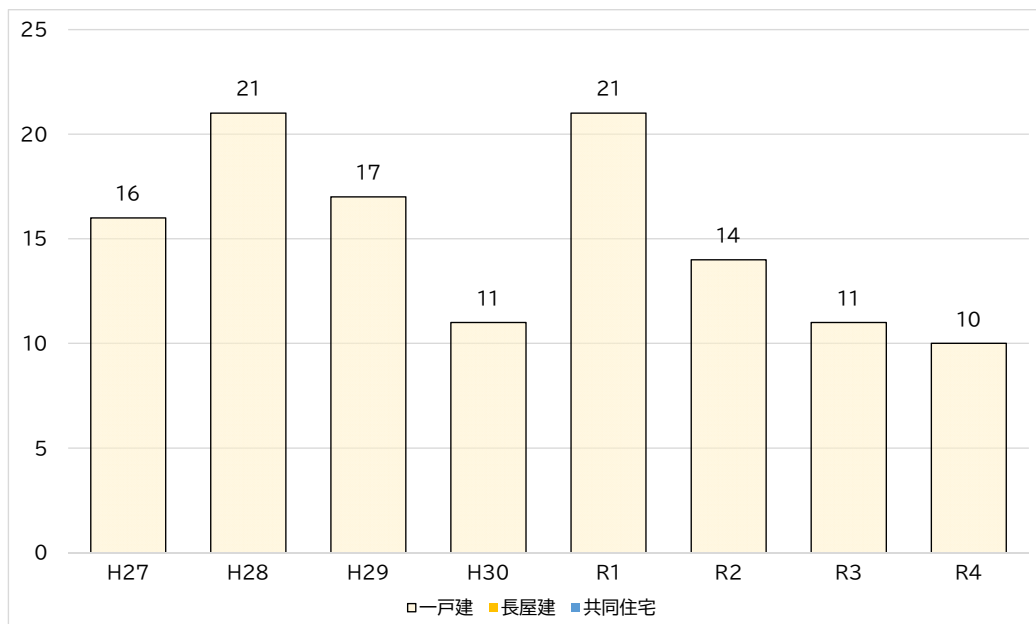


■着工住宅数（増改築）

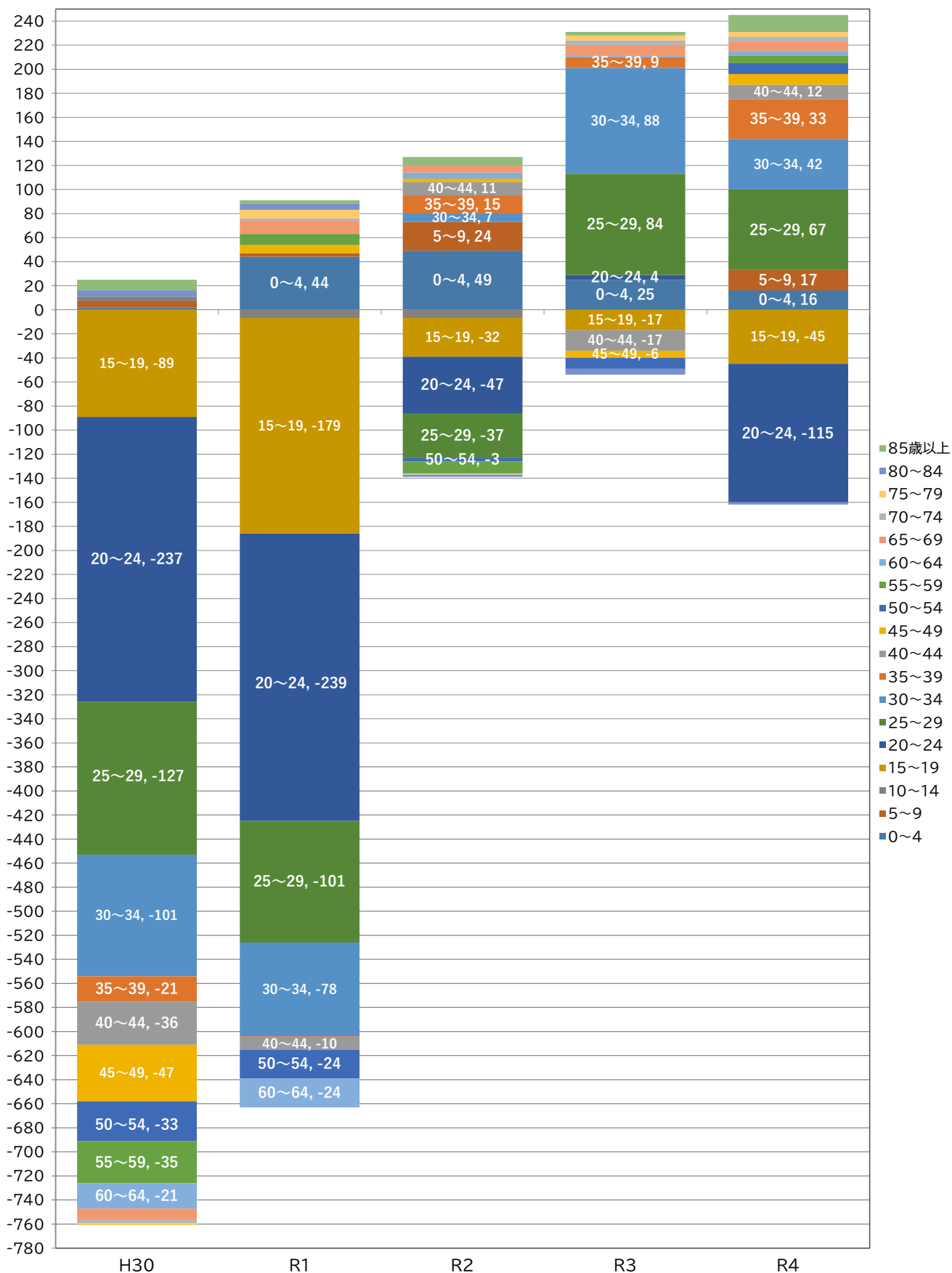
（戸・件）

	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
総計	39	19	16	21	17	11	21	14	11	10
一戸建	39	19	16	21	17	11	21	14	11	10
長屋建	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
共同住宅	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

出典：住宅着工統計（年度次）

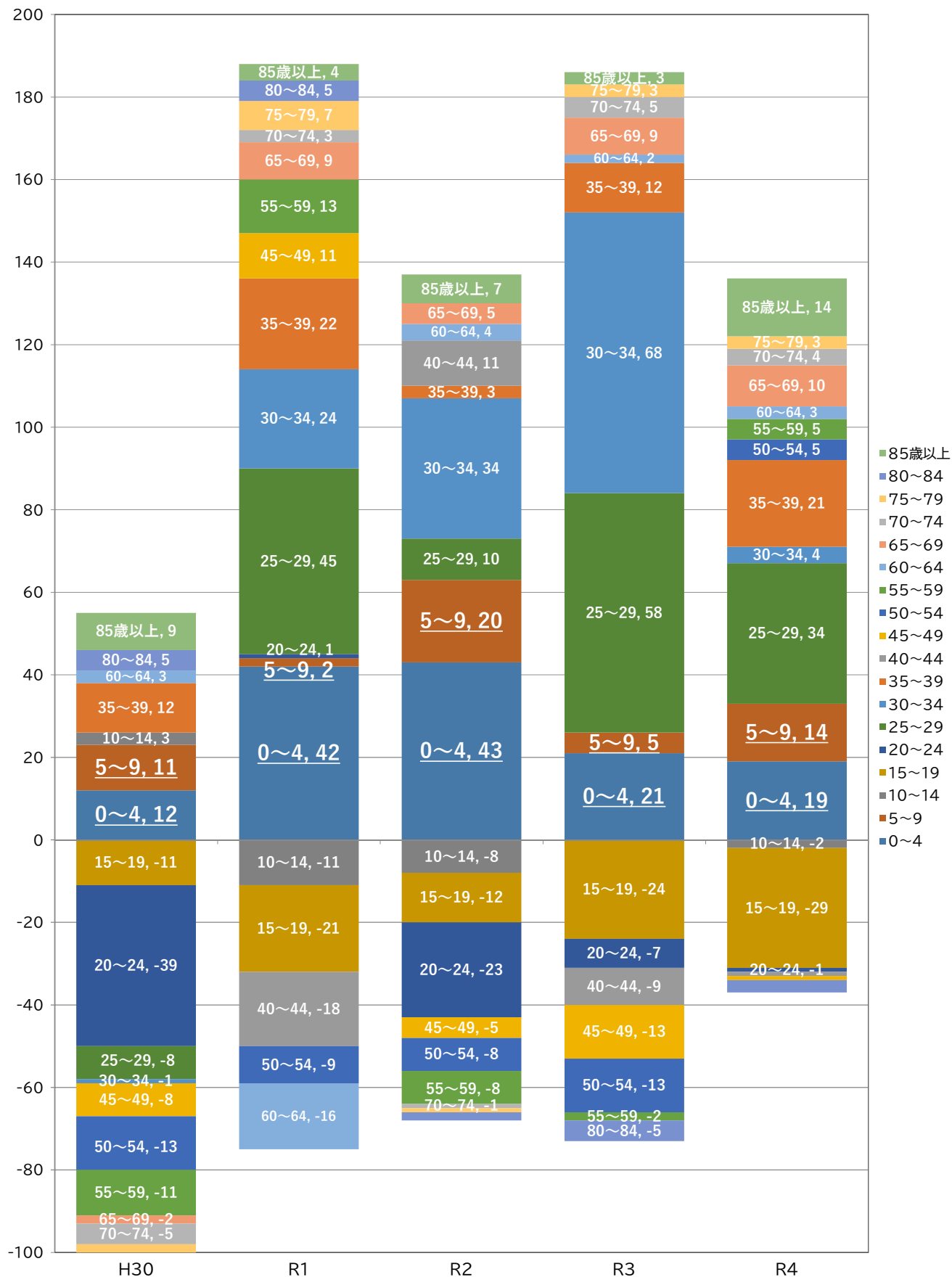


■年齢階級別の人口移動の推移（総数）



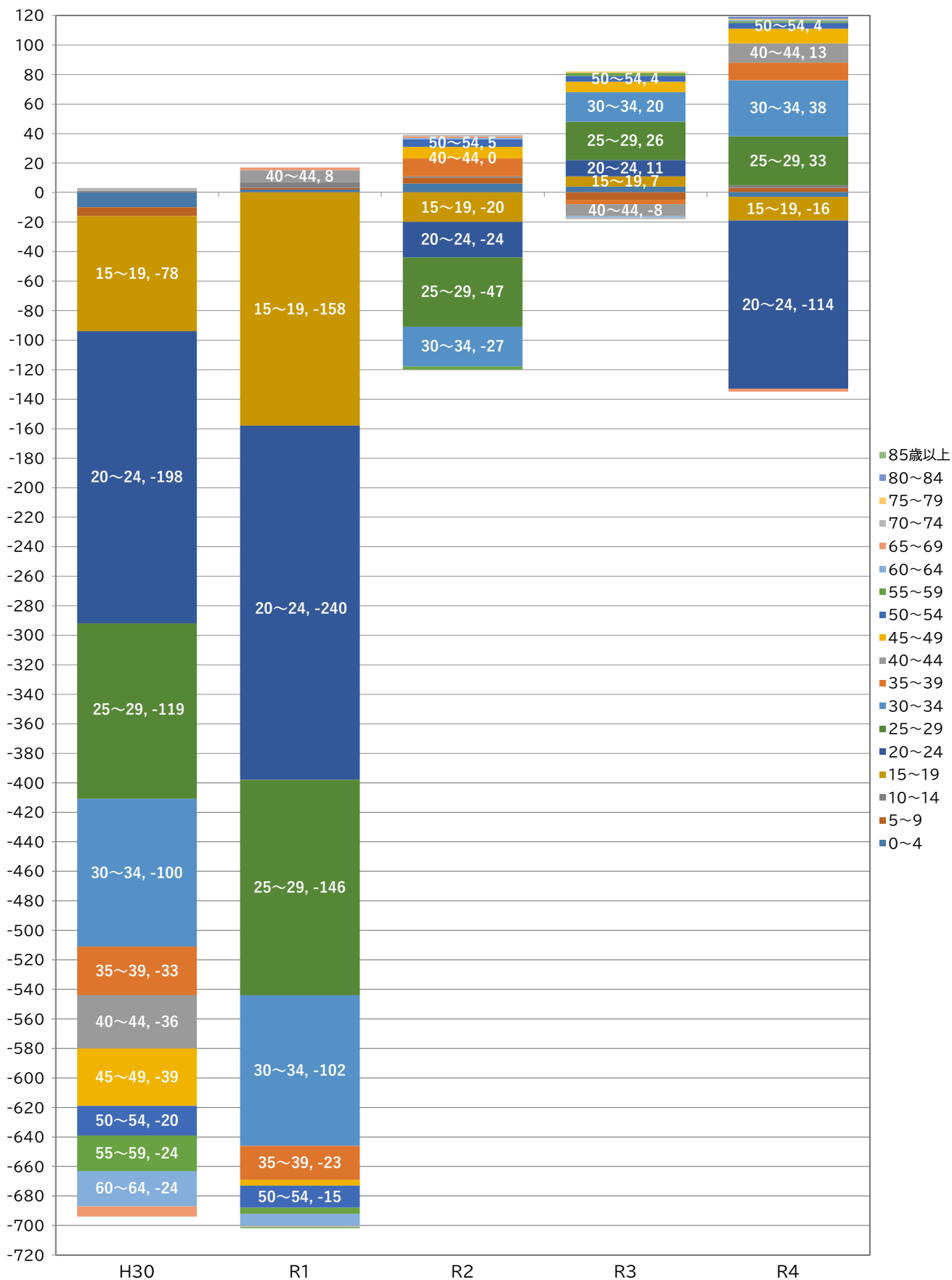
本市の年齢階級別の人口移動は、20~24歳・15~19歳において転出超過が多くなっており、大学進学や就職に伴うものであると考えられます。一方、25~29歳・30~34歳において転入超過が多くなっており、子育て世代の転入が進んでいることが伺われます。

■年齢階級別の人口移動の推移（日本人）



本市の年齢階級別の人口移動（日本人）は、20～24歳・15～19歳において転出超過が多くなる傾向にあり、大学進学や就職に伴うものであると考えられます。一方、25～29歳・30～34歳・35～39歳及び0～4歳・5～9歳において転入超過がみられ、子育て世代の転入が示唆されます。

■年齢階級別の人口移動の推移（外国人）



本市の年齢階級別の人口移動（外国人）は、15歳から34歳までの人口移動が多く、経済動向に伴う企業の活動に伴うものと推定されます。一方、14歳以下についてはほぼ動きがなく、子を伴った人口移動は示唆されません。

■人口ピラミッドの推移

